

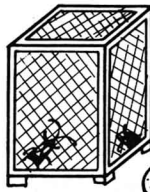
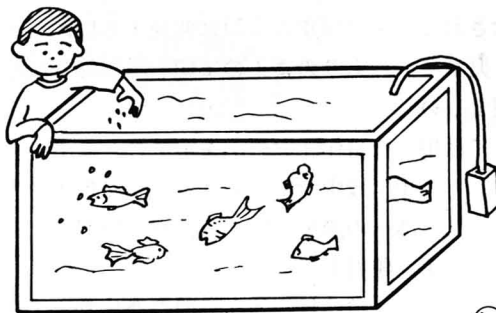
て内容を再投射すれば、会議の能率をあげることもできる。

(2) 学級会における係活動の活用例

① OHPの利用のしかた

朝や帰りの学級の時間、あるいは学級会活動の時間において、それぞれの係からの連絡や反省がよく行われる。このようなときに、口頭で連絡しただけでは、全員に十分に理解させることができないでしまうことが多い。

〔児童の自作TPの例〕



①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕
より
金魚のえさを
かかってにやらない
てください。
すず虫のえさを
かかってにやらない
てください。

これを児童生徒の力で改善させていくためには、児童生徒に自作のTPを使用させていくことが有効である。

スクリーンに投影することによって全児童生徒の注意を集中させ、視覚に訴えていくことができるばかりでなく、TPを作る過程をとおして、一人一人が自分の役割分担を遂行していくという実感と実践意欲を高めていくことにつながっていくからである。

自作のTPを手軽に使いこなすことができるようになれば、だんだんと文字だけではなく、さし絵やマンガなども添えて新鮮さを競争して工夫するようになり、そのことから、係活動そのものにもいろいろなアイデアを生み出してくるようになってくる。

② 児童生徒にTPを作成させるための留意点

低学年の児童には、TPのじか書きはむずかしいので、OHPのステージと同じ大きさのわく取りをした「画用紙」に「2B」程度以上の濃い「鉛筆」で記入させ、教師